



アマニ・ヤ・アフリカは、1998年、旅行でケニアのキベラ地区を訪れた1人の女性が、戦争難民のように国際的関心も集まらず、政府からは放置され、援助の手も届いていない、慢性的貧困にあえぐ人々とその子どもたちに出会い、そのような厳しい環境の中で、明るく逞しく生きる人々をなんとか支援したいという一途な思いで仙台からはじまった、アフリカとの交流・支援活動団体です。「アマニ」とは、東アフリカの言葉、スワヒリ語で「平和」を意味し、ケニアと日本の架け橋として、自然と人、人と人との調和のとれた平和な世界を目指しています。



代表 石原 邦子
副代表 吉村 松二
<http://amami-ya.com>

アマニ・ヤ・アフリカ 代表：石原 邦子
〒982-0023 仙台市太白区鹿野2丁目18-7-706
TEL&FAX: 022-247-4225
E-mail: mamaishi@guitar.ocn.ne.jp

アマニ・ヤ・アフリカ活動目的

アマニ・ヤ・アフリカは、ケニアの首都ナイロビにあるスラム街（キベラ）の発展と、経済的自立や教育・衛生環境改善等の支援事業を行ない、アフリカ社会への貢献はもとより、広く社会全体の平和と平等を念願し、活動することを目的とします。

アマニ・ヤ・アフリカの主な活動

- ① ストリートチルドレンのための学校運営への支援と奨学金賦与。
- ② リサイクル運動として不用品を集め、スラムに住む女性グループの経済的自立への支援を行う。
- ③ 貧困家庭の子どもたちへの給食支援。
- ④ スラムに住む住民が製作した民芸品のフェアトレード支援、促進。
- ⑤ スラム住民の職業訓練施設である、アマニ・フアクトリの設立。
- ⑥ アフリカを伝えるイベントの開催。
- ⑦ スタディーツアーの企画・実行。
- ⑧ その他アマニの目的達成のために必要な活動。

Amani project 1 スラム住民の自立支援

私達は、スラムで生活する人たちが製作したさまざまな商品を、現地の生産者が生計を立てていくだけの価格で取引するフェアトレードを促進・支援する活動により、スラム住民の経済的自立を支援しています。

Amani project 2 アマニ・フアクトリ設立・運営

貧困により、教育を受けられなかった若者及び障害者は、職を得るための技術を持ちません。私達はこれらの若者に対する職業訓練施設であるアマニ・フアクトリをケニア（ナイロビ市）に立ち上げ、2008年10月より現地にスタツツを派遣し、活動を開始しています。

Amani project 3 子どもたちの教育支援

スラム街にあるストリートチルドレンのための小学校・マゴリスクールの支援活動を、私達は10年以上も続けてきました。“マサイ大作戦”のバナナ葉ボールペンの売上は、学校の先生たちの雇用資金として活用されています。



▲やまがたライ箸クラフ
(株式会社アイ・タツクル)
さんとのコラボレーションにより誕生した、フェアトレード・エコバッグ。

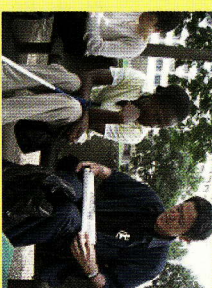


▲アマニのオリジナル商品を現地で製作しているエディンさん。

●アマニの活動の一部をご紹介します。



▲アマニのアクセサリーはどれもスラムで生活するの母さんたちがひとつひとつ、手作りしたものです。



▲現地で打ち合わせをするアマニのスタツツ。